

## 「学習療法」で認知症予防を

光寿会 家族交流会に200人

社会福祉法人光寿会(森光弘  
理事長)は11月15日、帯広市内

のどかちプラザで「第14回学習  
療法家族交流会」を開いた。約  
200人が参加し、「学習療法」  
や高齢化社会を支える「地域の



「長寿高齢化社会への対  
応は地域の力が必要」と  
語った森理事長

力について理解を深めた。

同交流会は認知症予防や改善  
に効果があるとされる学習療法  
について紹介する交流会。森理  
事長のあいさつに続き、交流会  
では、同法人の職員が介護劇や  
ショートムービーを通じて学習  
療法についての事例を紹介。同  
法人が帯広で開催している「脳  
の健康教室」の実践報告も行わ  
れた。

また、芦別慈恵園の川邊弘美  
施設長と帯広市の中島剛保健福  
祉部長によるパネルディスカッ

ションを行い、「地域の力は認  
知症を超える」をテーマに意見  
交換した。高齢者や認知症患者  
らにとつて「住みよい街とは何  
か」など活発な意見を出し合っ  
た。

交流会に参加した滋賀県学習  
療法研究会の新庄一範会長は  
「事例発表がとても感動的だっ  
た。滋賀県にこの交流会の話題  
を持ち帰りたい」と話していた。

同交流会は次回からは「家族  
交流会」から「地域交流会」へ  
と名称を変更することも発表さ  
れた。森理事長は「長寿高齢社  
会において認知症の問題は避け  
て通れない。行政任せではなく  
地域の力が必要」と語った。

(大谷健人)